ITX-アセンブラ 基本設計仕様書

# ［概要］

本プログラムは、IT-X用のソースコードを機械語に変換するコマンドラインアプリケーションである。

# ［環境］

日本語Windowsのコマンドプロンプトから実行できるものとする。

# ［使い方］

**>itx\_assembler.exe [ソースコードファイル名] [実行バイナリファイル名]**

* [ソースコードファイル名] **※必須**
  + - アセンブル対象のソースコードファイル名を指定する。
* [実行バイナリファイル名] ※任意
  + - アセンブルの結果生成する実行バイナリファイル名を指定する。
    - 指定のない場合、ソースコードファイル名の拡張子を「.bin」に変換したものを使用する。
    - 出力先にすでに同名のファイルが存在していた場合は上書きする。

# ［動作］

アセンブル成功時

* 終了コード 0 とする。
* 画面に処理成功を示すメッセージを表示する。

アセンブル失敗時

* 終了コードはエラー番号とする。エラー番号およびエラー詳細については詳細設計にて決定する。
* 画面にエラー内容を示すメッセージを表示する。
* ソースコードファイルに構文エラーがあった場合は、前述のメッセージとともにソースコードファイルの当該行番号を表示する。

# ［備考］

アセンブリ言語の構文等については「新人研修課題\_itxアセンブラ」の付録に記載の「IT-A アセンブリ言語 構文」、「IT-X命令表」、「IT-X アセンブリ言語仕様」に従うこと。

以上